

明石市教育大綱（素案）に対する

明石市長期総合計画推進会議での主な意見について

明石市教育大綱（素案）について、上位計画となる第5次長期総合計画の着実な推進を図るために設置している明石市長期総合計画推進会議で意見を聞きました。

1 明石市長期総合計画推進会議の概要

(1) 委員構成（12名）

- ・学識経験者 2名（兵庫大学教授、兵庫教育大学大学院教授）
- ・市内団体代表 5名（連合自治協議会、連合子ども会育成連絡協議会、ボランティア連絡会、商工会議所、連合兵庫明石地域協議会）
- ・公募市民 4名
- ・市内学生 1名（明石工業高等専門学校）

(2) 意見聴取

- ・平成27年度第2回会議（平成27年12月21日開催）
- ・委員10名出席

2 主な意見

- ・基本方針の方針2に「豊かな心」をはぐくむことが示されているが、【参考】方針ごとの施策の方向性には挙がっていない。知識だけではなく、EQ（心の知能指数）を高めることが重要であり、EQは集団の中でしか学ぶことができないため、心の教育に関する内容を盛り込むべきではないか。
- ・幼児の頃から本を読むことは、まさに情緒豊かな心を醸成することにつながる。現在、推進しようとしている本のまちづくりは、子どもたちの豊かな心をはぐくむ土壌になるのではないか。
- ・中学2年生を対象に実施しているトライやる・ウィークの取組は、社会との関わりの中で、心の教育にも有意義であり、市内の企業や人を知る良い機会ともなっている。受入する企業にとっても良い刺激となっており、もう少し長い日数で実施できればよいと考えている。
- ・天文科学館は他市にはない明石の特性であり、こうした貴重な資源を活用した教育を行うことで、転入・定住にもつながるのではないか。